

Hitachi Koki

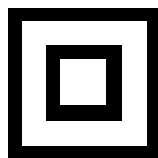
日立ボード用ドライバ

5mm W 5VD

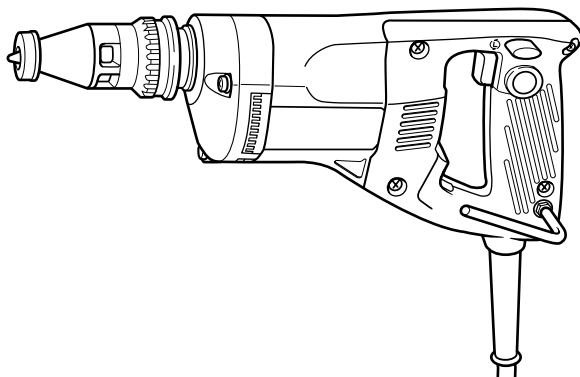
6mm W 6VJ

取扱説明書

このたびは日立ボード用ドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁

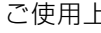
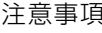


HITACHI

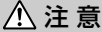
目 次

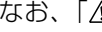
	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ボード用ドライバの使用上のご注意	5
各 部 の 名 称	6
仕 様	7
標 準 付 属 品	7
別 売 部 品	8
用 途	8
作業前の準備	8
ご 使 用 前 に	9
ビットの取付け・取りはずし	11
フックの取付け方	12
使 い 方	13
クラッチスプリング (A) の交換	16
保 守 ・ 点 検	18
ご修理のときは	21
全国営業拠点	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれの意味を表します。

 **警 告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注 意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警 告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



警 告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - ・継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
 - ・屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。



警 告

⑪ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑫ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑬ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

⑭ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ボード用ドライバの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ボード用ドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落したり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



注 意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

- ② 締付け深さの調整時は、スイッチを切ってください。

回転させたまま締付け深さを調整すると、けがの原因になります。

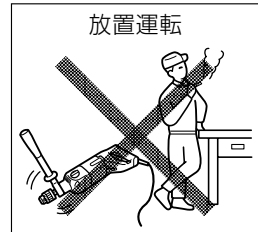
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。

材料や機体を落としたとき、事故の原因になります。

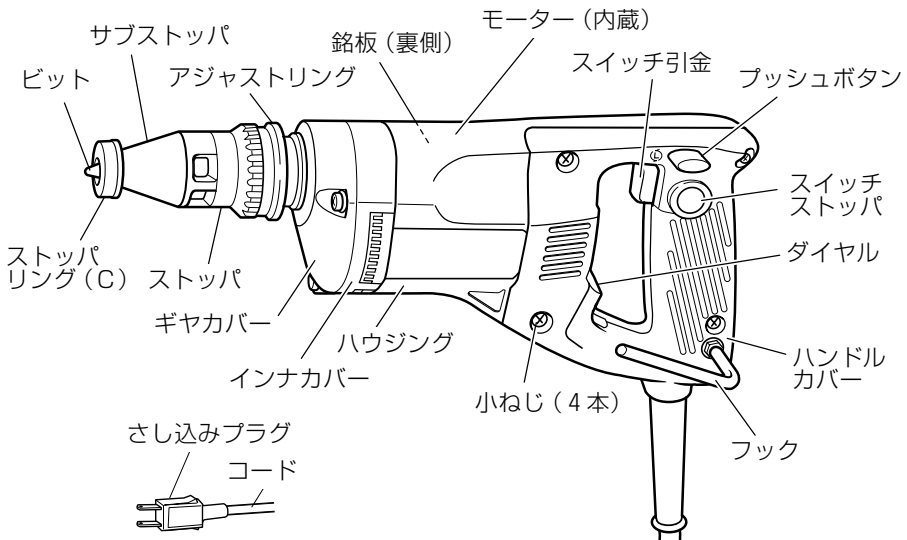
- ④ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

④



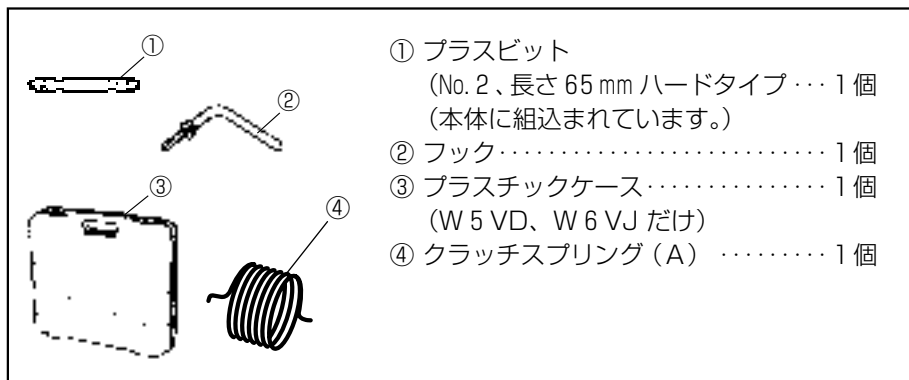
各部の名称



仕 様

形名 項目	W 5VD	W 5VD (L)	W 6VJ	W 6VJ (L)
能 力	5 mm		6 mm	
無負荷回転数	1900 ～ 4500 min ⁻¹ { 1900 ～ 4500 回／分 }		1200 ～ 2800 min ⁻¹ { 1200 ～ 2800 回／分 }	
使 用 電 源	単相交流 50／60 Hz 共用 電圧 100 V			
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター			
全負荷電流	5.5 A			
消 費 電 力	520 W			
質 量	1.3 kg (コードを除く)			
コ ー ド	2心キャブタイヤ コード2.5 m	2心キャブタイヤ コード20 m	2心キャブタイヤ コード2.5 m	2心キャブタイヤ コード20 m

標準付属品



注 • クラッチスプリング (A) は、密閉したビニール袋に入れたまま大切に保管してください。

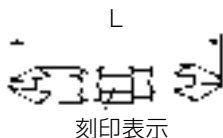
ビニール袋から取り出した状態で長期間保管すると、サビやすくなり、耐久性が低下する恐れがあります。

クラッチスプリング (A) は、16 ページの「クラッチスプリング (A) の交換」の項を参照し、交換してください。

別売部品

..... (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

1. プラスビット(No. 2 ハードタイプ)



L (mm)	刻印表示	コードNo.
65	HITACHI No. 2 X	313182
45	2 X	313181

2. フック組 [コードNo. 313283]



用 途

- ドライウォールねじの締付け

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. 継ぎ(延長)コード



警 告

- 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ(延長)コードをできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 mm ²	20 m
1.25 mm ²	30 m
2 mm ²	50 m

左の表は、コードの太さ(導体公称断面積)によって、機体を使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

2. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に



警 告

- ・ご使用前に次のことを確認してください。1～5項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（6ページの図参照）を引くと入り、離すと切れます。スイッチ引金を引き、離れたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

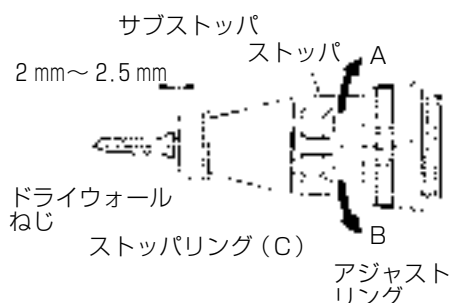
3. ストッパリング（C）の使い方

ストッパの先端に装着してあるストッパリング（C）は、石こうボードにドライウォールねじを締付けする際にご使用ください。

石こうボード表面の損傷防止に効果があります。

4. 締付け深さの調整

ビットにねじの頭を入れ、ストップを回して、ストップの先端とねじ頭との距離を調整し、締付け深さを決めます。(ストップをA側に回すとビットはへこみ、B側に回すとビットは出張ります。)



- (1) ビットにドライウォールねじの頭を入れます。
- (2) ストップリング (C) の先端とドライウォールねじ頭の上端との距離は 2 mm ~ 2.5 mm を目安に、調整します。
- (3) 数本試し締めし、ちょうどよい距離に微調整してください。

5. 締付けねじの確認



注 意

- ドライウォールねじ以外のテクスねじ・木ねじは使用しないでください。

大きな負担がかかり、ねじの破損や機体の故障の原因になります。

締付けねじがドライウォールねじであることを確認してください。

6. ビットの確認と交換

この機体には標準付属品としてプラスビット (No. 2、長さ 65 mm ハードタイプ) が組込まれております。ビットの損傷により交換する場合は、「ビットの取付け・取りはずし」の項を参照し、ビットを交換してください。

注 • 必ずねじに合ったビットを使用してください。

ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になります。

7. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

ビットの取付け・取りはずし

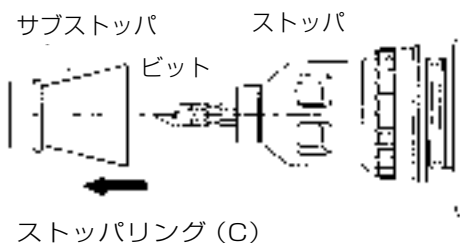
⚠ 警 告

- ・万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

注 ・新品と交換の際は、必ず 8 ページに記載の日立プラスビットを使用してください。

日立プラスビットを使用しないとビットの先端が振れやすくなり、ドライウォールねじがビットからはずれやすくなります。

1. 取りはずし



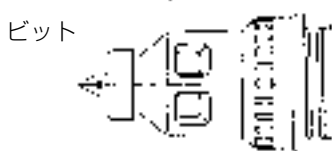
- (1) ストッパを手でしっかりと押さえ、サブストッパを(←)方向に引き、ストッパから取りはずします。

- (2) ビットの先を持って引っ張り、機体から引き抜きます。
手で抜けない場合は、ペンチなどを使用してください。

2. 取 付 け



ストッパ



ストッパリング (C)

(1) 65 mm プラスビット使用の場合

ビットをストッパの中に入れ、十分に押し込みます。

ビットを取付けましたら、ストッパを手でしっかりと押さえ、サブストッパ(上図参照)をストッパに取付けます。

(2) 45 mm プラスビット使用の場合

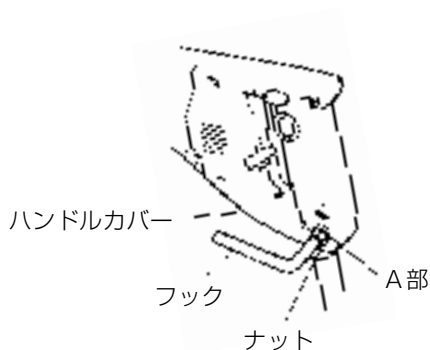
ビットをストッパの中に入れ、十分に押し込みます。

ビットを取付けましたら、ストッパリング (C) をサブストッパからはずし、ストッパの先端に取付けます。

サブストッパは紛失しないよう保管してください。

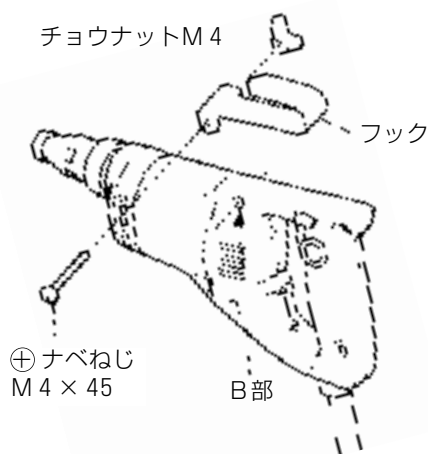
フックの取付け方

(1) 標準付属品の場合



- ① フックを機体A部の穴にさし込み、時計方向に回します。
ナットがハンドルカバーの座面についたらスパナでしっかり締付けます。
- ② フックは反対側にも取付けることができます。同じ手順で取付けてください。
- ③ フックは腰ベルト、または最大径 28 mmまでのパイプなどに掛けることができます。

(2) 別売部品の場合

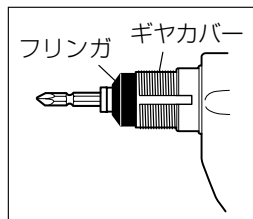


機体B部の小ねじ（1本）を取りはずし、フックを⊕ナベねじ M4 × 45 とナットM4で取付けます。フックは腰ベルト、または最大径 30 mmまでのパイプなどに掛けることができます。

使 い 方

⚠ 注 意

- フリンガをはずして使用しないでください。
ギヤカバー内に粉じんが入り込み、機体の故障の原因になります。



1. スイッチの操作

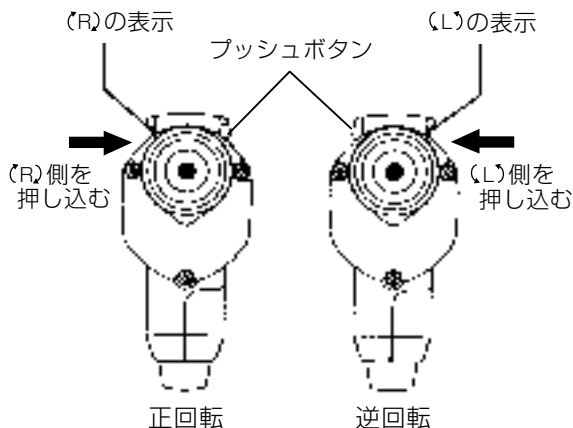
スイッチはスイッチ引金を引いてからスイッチストッパを押すと、指を離しても入ったままになっており連続運転に便利です。切るときは再びスイッチ引金を引いてから離しますとスイッチストッパははずれます。

2. 操作の仕方

スイッチを入れますとモーターが回りますが、それだけではビットは回りません。ビットの先をねじ頭部の溝に当て、機体ごと押し付けますと、ビットが回ってねじを締めます。

- 注** • ねじを確実に取付けるには、ねじの十字穴に正しくビットをはめ、ねじとビット（機体）を真直にして、取付面に対して垂直に押し付けてください。締め終わったら、押し付ける力をゆるめるとビットの回転が止まります。

3. 回転方向の切替え



〔機体を先端から見た図〕

- 左図のようにプッシュボタンの（R）側を押し込むと先端工具はハンドル側から見て右に回り（正回転）、右図のように（L）側を押し込むと左に回ります（逆回転）。
（（R）（L）は外枠に表示してあります。）

注・回転方向をかえるときは、必ずスイッチを切ってモーターの回転が止まってから、プッシュボタンを操作してください。

スイッチを切らずに直接プッシュボタンを切替えると、焼損の原因になります。

4. 回転数の調整



(1) この機体はビットの回転数を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。

ダイヤルの調整により、穴あけ材料、作業条件に合った回転数でご使用ください。

ダイヤルの目盛り「1」が最低速で、目盛り「5」が最高速です。

ダイヤルの目盛りが「1」のとき、電源事情などにより回転しなくなることがありますので、ご注意ください。

(2) 締付け材料と適正回転数の関係

締付け材料と適正回転数（ダイヤル目盛）の関係は、作業条件、電源事情などによって多少異なります。

次の表を目安にご使用ください。

		ダイヤル目盛	
		W5VD W5VD(L)	W6VJ W6VJ(L)
締付け材料	下地材料		
石こうボード	鉄板(SPCC)	4 ~ 5	4 ~ 5
	ラワン材	3 ~ 4	4 ~ 5
石こうボード	石こうボード		2 ~ 3
逆転ゆるめ		3 ~ 5	3 ~ 5

注・低速で、長い時間の連続作業などビットが停止するような無理な使い方は避けてください。

モーターに無理がかかり、焼損の原因になります。

5. ねじ締め作業の際は



注 意

- ねじ締め作業の際は、締付け材料に対して垂直に機体を押し込んでください。

締付け材料に対して機体が斜めになりますと、ねじ頭部を傷めたり、ビット先端が摩耗します。

また、ねじ締め深さが不安定になり、主にねじ浮きの原因になります。

6. ゆるめ作業の際は



注 意

- 逆回転で長い時間の連続運転は、しないでください。

ねじのゆるめ時は、プッシュボタンを逆転側に切替え、そのままビットをねじの頭に入れ、作業してください。

この機体の場合、逆転側に切替えると、機体を押し付けなくても、ビットが回転するようになっていきますので、楽にゆるめ作業をすることができます。

ビットがねじの頭に入りにくい場合は、サブストッパ（6 ページの図参照）をはずして、ゆるめ作業をしてください。

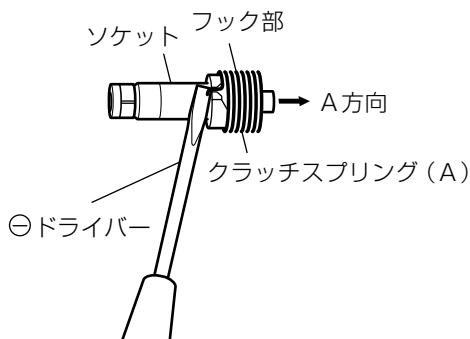
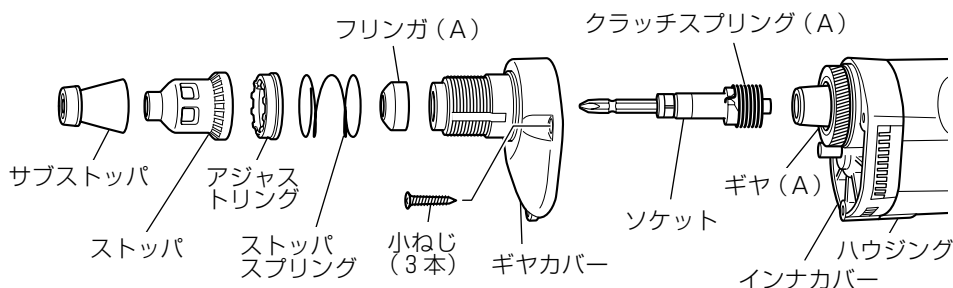
クラッチスプリング (A) の交換

クラッチスプリング (A) が折損すると、ビットが回転しくくなります。
次の手順でクラッチスプリング (A) を交換してください。

交換方法

〈分解〉

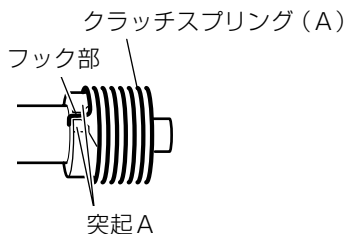
- (1) ギヤカバー先端に保持されたサブストッパ、ストッパ、アジャストリング、ストッパスプリング、フリंगा (A) の5部品をギヤカバーからはずします。ギヤカバー内に付着しているグリースはふき取らないでください。
- (2) ギヤカバーを締付けている小ねじ (3本) をゆるめ、ギヤカバーをはずします。機体はハウジングとインナカバーが離れないように静かに置いてください。



- (3) ソケットを抜き取った後、ソケットに保持されたクラッチスプリング (A) のフック部を①ドライバーの先などで持ち上げ、クラッチスプリング (A) を矢印A方向へはずします。
- (4) 折損したクラッチスプリング (A) は、ギヤカバーやギヤ (A) に入っているため、破片をすべて取り除いてください。

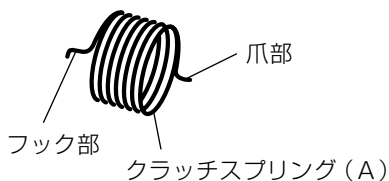
〈組立〉

(1) 図のようにクラッチスプリング (A) をソケットに取付けます。

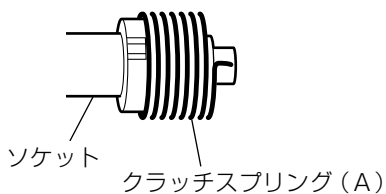
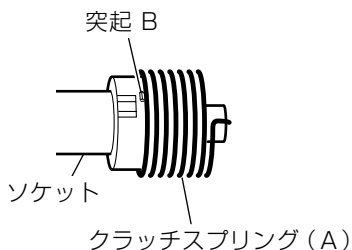


- ① ソケットにある 2 箇所の突起 A の間にクラッチスプリング (A) のフック部をはめ込みます。

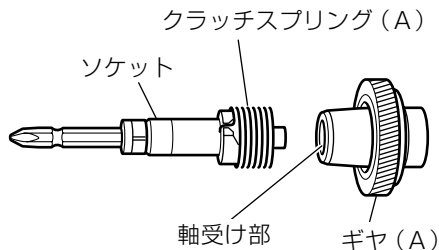
注・クラッチスプリング (A) のフック部と爪部を間違えないようにしてください。



- ② クラッチスプリング (A) とソケットの間にすきまのないように、ソケット側面の突起 B をクラッチスプリング (A) の 1 巻きめと 2 巻きめの間に入れて、クラッチスプリング (A) を矢印 B 方向に押込みます。



- (2) クラッチスプリング (A) を取付けたソケットを機体側のギヤ (A) の軸受け部に挿入し、ギヤカバーをかぶせてください。



- (3) ギヤカバーをかぶせた後は、分解と逆の手順で組立してください。

保守・点検



警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットをそのまま使用になりますと、ねじ頭部を傷めるので早めに新品と交換してください。

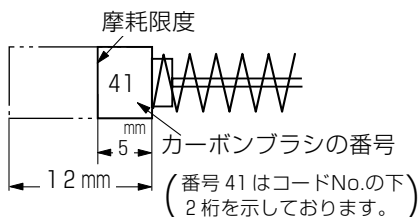
2. 各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

3. カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

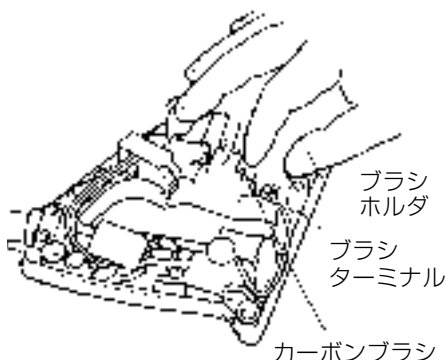
カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因になりますので、長さが摩耗限度(5 mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。



また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

- 注** • 新品と交換の際は、必ず図示の番号(41)の日立カーボンブラシを使用してください。

交換方法



〈分解〉

- (1) ハンドルカバー（6 ページの図参照）を締付けている小ねじ（4 本）をゆるめ、ハンドルカバーをはずします。
- (2) ブラシホルダを ⊖ドライバーの先などで持上げ、カーボンブラシを押さえながらブラシホルダをハウジングから取出します。
この場合、リード線を伸ばしたり、傷を付けないよう十分注意してください。
- (3) ブラシターミナルをブラシホルダから抜取ります。
- (4) カーボンブラシをブラシホルダから取出します。

〈組立〉



警告

- カーボンブラシを交換して組立てる場合は、必ず下記の組立方法に従ってください。万一、内部配線類が回転子（アマチュア）に接触していたり、ハンドルカバーでかみ込んでいるような場合は、感電の恐れがあるので十分注意してください。

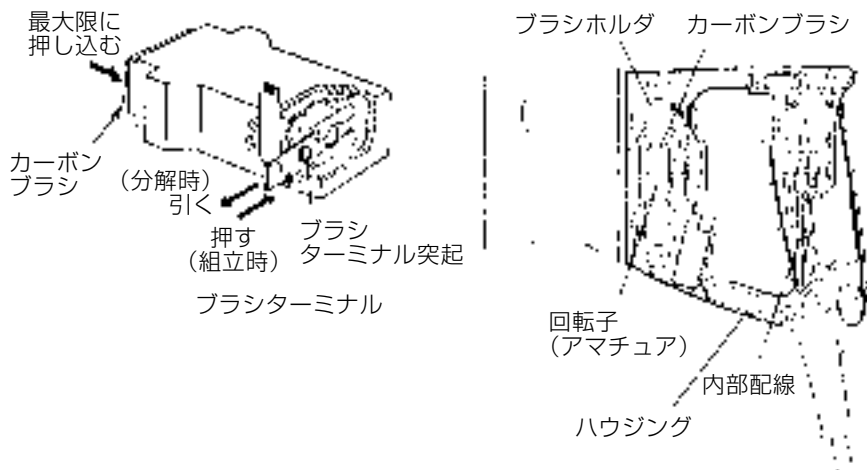


注意

- カーボンブラシを交換する際は、交換に必要な部品以外には触れないでください。

- (1) 次ページの左図のようにカーボンブラシをブラシホルダの中に入れ、最大限に押し込んだ状態でブラシターミナルを挿入します。
- (2) カーボンブラシを押さえながらブラシホルダをハウジングに挿入します。

- (3) 内部配線類が右図のように正規の位置にあること、また内部配線類が回転子（アマチュア）に接触する危険がないことを十分確認してください。
- (4) 内部配線類がハウジングとの間にかみ込まれないよう十分注意してハンドルカバーをかぶせ、小ねじを締付けてください。



4. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 ・ゴミやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングのスイッチ側の風穴から吹き込んでください。

モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

5. 表面のよごれの清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

6. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨がかったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ

モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

■日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

●全国営業拠点

第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号（ST金沢ビル） ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

●電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00）



日立工機株式会社